

# 第5期宮城県食育推進プラン全体構成案

資料8

第4期計画		第5期計画（案）		修正点及び考え方
<b>1 計画策定の趣旨</b>	(1)食育をめぐる現状 (2)宮城県食育推進プランの変遷	<b>1 計画策定の趣旨</b>	(1)食育をめぐる現状 (2)宮城県食育推進プランの変遷	○計画の構成はシンプルに分かりやすいものとなるよう、計画の構成を整理
<b>2 計画の位置付け</b>		<b>2 計画の位置付け</b>		○「本県の食を取り巻く現状」は、「本県の食を取り巻く現状と課題」として別に整理
<b>3 計画の期間（R3～R7）</b>		<b>3 計画の期間（R8～R12）</b>		○「計画の目標達成状況」は、施策の達成状況や、次期計画で重点的に取り組む事項を加え、「4期計画の評価」として整理
<b>4 計画策定の概要</b>	(1)第3期計画の目標達成状況 ① 食育を通じた健康づくり ② 「食材王国みやぎ」の理解と継承 ③ 食の安全安心に配慮した食育 ④ みんなで支えあう食育 (2)本県の食を取り巻く現状 (3)食品ロス（第4期策定期に追加） (4)非常時・災害時の食の備え（第4期策定期に追加） (5)特に重点的に取り組むべき事項 ・子どもや若い世代に対する取組を強化 ・コンセプト「次世代へ伝えつなげる食育の推進～健やかに、宮城で生きる～」	<b>4 本県の食を取り巻く現状と課題</b>	(1)第4期計画の目標達成状況 (2)重点施策の達成状況及び課題と対策 (3)次期計画において重点的に取り組むべき事項 ・子どもや若い世代に対する取組は引き続き重点的に推進 ・誰もが食育を実践しやすい環境づくり	○「食を取り巻く新たな視点」として国が進める食環境イニシアチブ、食育プラットフォームを記載
<b>5 基本目標</b>	◇県民一人一人が、食を生きる上での基本としてとらえ、健全な食生活と心身の健康増進を目指します ◇多彩で豊富な宮城の食材の理解と食文化の継承を通して、豊かな人間形成を目指します	<b>5 第4期計画の評価</b>	(1)第4期計画の目標達成状況	○計画の構成を見直した内容と趣旨を説明
<b>6 行動目標</b>	◆自らの食についてしっかり考え、食に関する知識や食べ物を選択する能力を習得し、宮城の豊富な食材を活用したバランスのとれた食生活を実践します	<b>6 食を取り巻く新たな視点</b>	(2)官民連携食育プラットフォーム	○第1期計画から継続
<b>7 食育推進の基本方向</b>	1 健全な食生活に必要な知識の習得と実践能力の育成 2 宮城の風土に育まれた食材・食文化の理解と継承 3 食の安全安心と非常時への備えの推進 4 多様な機関の連携・協力による食育の推進	<b>7 第5期計画の構成について</b>	(3)第5期計画の構成について	○行動目標は、独立で項目を立てての記載は行わず、県民や関係機関に実践してほしい具体的な行動や取組を別途設けている「目標」に溶け込む形で整理
<b>8 重点施策と目標指標</b>	1 食育を通じた健康づくり Plan1 生涯を通じた健康づくり Plan2 健全な食生活の実現 2 「食材王国みやぎ」の理解と継承 Plan3 農林漁業への理解と地産地消の推進 Plan4 食文化の継承 3 生きる力を育てる食育 Plan5 食の安全安心の推進 Plan6 非常時への備えの啓発 4 みんなで支えあう食育 Plan7 食育支援ネットワークの強化 Plan8 食育推進の環境づくり	<b>8 基本目標</b>	◇県民一人一人が、食を生きる上での基本としてとらえ、健全な食生活と心身の健康増進を目指します ◇多彩で豊富な宮城の食材の理解と食文化の継承を通して、豊かな人間形成を目指します	○食育推進の基本方向は、重点施策に統合し、実施する具体的な異様が分かりやすいように文言を整理 ○第5期計画で重点的に取り組む事項を明記
<b>目標一覧</b>	<重点施策1> 朝食を毎日食べる人の割合（20～30歳台・小学6年生） 1日あたりの食塩摂取量（成人男性・成人女性） 1日あたりの野菜摂取量（成人） 主食・主菜・副菜をそろえて食べるようしている人の割合（成人） ゆっくりよく噛んで食事をしている人の割合（成人） 栄養成分表示を参考にしている人の割合（成人） 肥満傾向児の出現率（中学1年生男子・中学1年生女子） メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合（40～74歳） 12歳児のむし歯のない人の割合	<b>9 重点施策と目標指標</b>	1 食育を通じた健康づくり Plan1 生涯を通じた健康づくり Plan2 健全な食生活の実現 2 「食材王国みやぎ」の理解と継承 Plan3 農林漁業への理解と地産地消の推進 Plan4 食文化の継承 3 食の安全安心と非常時への備え Plan5 食の安全安心の推進 Plan6 非常時への備えの普及啓発 4 食育を実践しやすい環境づくり Plan7 食育支援ネットワークの強化 Plan8 食育を実践しやすい環境づくり	○目標は県民の知識・行動に直接つながる具体的な項目、食育を支援する環境整備に関する項目に絞って整理
	削除 削除 削除	<b>目標一覧</b>	<重点施策1> 朝食を毎日食べる人の割合（20～30歳台・小学6年生） 1日あたりの食塩摂取量（成人男性・成人女性） 1日あたりの野菜摂取量（成人） 主食・主菜・副菜をそろえて食べるようしている人の割合（成人） ゆっくりよく噛んで食事をしている人の割合（成人） 栄養成分表示を参考にしている人の割合（成人） (新) 食育に関心を持っている人の割合（成人） (新) 地域等で共食したい人と思う人が共食する割合（成人）	○重点施策3は実施内容が明確になるよう「食の安全安心と非常時への備え」と表現を変更 ○Plan6は「非常時への備えの普及啓発」と「普及」を追記 ○重点施策4は実施内容が明確になるよう「食育を実践しやすい環境づくり」に変更 ○Plan8は「食育を実践しやすい環境づくり」に変更
	削除 削除 削除	<b>削除（各自指標に溶け込む形で整理）</b>		○健康状態に関わる指標（メタボリックシンドローム、むし歯、肥満）は、みやぎ21健康プラン、歯と口腔の健康づくり計画等の関連計画で進行管理を行う（取組事項としては継続）
		<b>削除（重点施策へ統合）</b>		○国計画で目標指標としている、食育への関心度、共食に関する目標を新たに追加。
		<b>9 重点施策と目標指標</b>	1 食育を通じた健康づくり Plan1 生涯を通じた健康づくり Plan2 健全な食生活の実現 2 「食材王国みやぎ」の理解と継承 Plan3 農林漁業への理解と地産地消の推進 Plan4 食文化の継承 3 食の安全安心と非常時への備え Plan5 食の安全安心の推進 Plan6 非常時への備えの普及啓発 4 食育を実践しやすい環境づくり Plan7 食育支援ネットワークの強化 Plan8 食育を実践しやすい環境づくり	○計画で類似の目標指標のある、地産地消を意識した食品等の購入を新たに追加 ○食育を実践しやすい環境づくりの目標として追加 ○第4期から取組事項として追加した食品ロスの目標指標を追加
		<b>削除</b>		○食の安全安心消費者モニター活動率は、関連計画の目標から削除されたため、削除 ○食育を実践しやすい環境づくりの目標として追加 ○「世帯」→「人」に変更
		<b>削除</b>		○みやぎ食育コーディネーターの活動は定着したことから、目標指標から削除（活動支援等の取組は継続する） ○食育を実践しやすい環境づくりの目標として追加
		<b>削除</b>		必要な取組や文言を追記、修正
<b>9 ライフステージに応じた食育の取組</b>	子ども：「望ましい食習慣の形成と定着」 若い世代：「健全で豊かな食生活の実現」 働き盛り世代：「健全で豊かな食生活の実践と次世代への継承」 高齢期：「食を通じた豊かな生活の実現と食文化の伝承」	<b>10 ライフステージに応じた食育の取組</b>	子ども：「望ましい食習慣の形成と定着」 若い世代：「健全で豊かな食生活の実現」 働き盛り世代：「健全で豊かな食生活の実践と次世代への継承」 高齢期：「食を通じた豊かな生活の実現と食文化の伝承」	必要な取組や文言を追記、修正
<b>10 県民運動としての食育推進運動の展開</b>	(1)食育に関する普及啓発 (2)食育推進関連団体等、多様な関係者による支援体制整備	<b>11 県民運動としての食育推進運動の展開</b>	(1)食育に関する普及啓発 (2)食育推進関連団体等、多様な関係者による支援体制整備	必要な取組や文言を追記、修正
<b>11 食育の推進体制と関係者の役割</b>	(1)推進体制及び進行管理 (2)関係者の役割	<b>12 食育の推進体制と関係者の役割</b>	(1)推進体制及び進行管理 (2)関係者の役割	必要な取組や文言を追記、修正